

事務事業名	だんだんタクシー運行事業		所属部	政策企画部	所属課	うんなん暮らし推進課	
総合計画体系	政策名	〈Ⅱ〉安全・安心で快適なまち〈定住環境〉		所属G	定住・公共交通G		
	施策名	〈13〉公共交通ネットワークの充実		担当者名	藤江 未奈		
	目的・対象	公共交通機関利用者	意図	市内及び市外に向けて安全・便利に移動できる。			
	基本事業	〈037〉多様な交通サービスの提供		電話番号	0854-40-1014 (内線) 2323		
目的・対象	公共交通機関利用者	意図	多様な交通サービスを利用できる。			予 算 科 目	会計 0:1100:2 款 1:00:2 大 事 業 名 公共交通対策事業 中 事 業 名 だんだんタクシー事業

1 現状把握【DO】

(1) 事務事業の概要

① 対象(誰、何を対象にしているのか)	② 意図(対象がどのような状態になるのか)
市民	大東町、加茂町、木次町、三刀屋町、掛合町エリアで利便性が高く、円滑な移動ができる。
③ 事業内容(期間限定複数年度事業は全体像を記述)	
事業期間 <input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 ( H16 年度～ ) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( 年度～ 年度 )	デマンド型乗合タクシー運行事業。運行をタクシー事業者への委託により実施。通称「だんだんタクシー」 住民の移動手段確保を目的とする。
④ 主な活動	⑤ これまでの改革・改善経緯
R4年度実績(R4年度に行った主な活動)	(この事務事業に関してこれまでどのような改革改善をしているか?)
【大東町】 :5路線 【加茂町】 :1路線 【木次町】 :2路線 【三刀屋町】:3路線 【掛合町】 :2路線	導入に際しては、1年間程度の実証運行後、本格運行判断基準に基づき本格運行への移行を図ってきており、平成30年度に市内全域で本格運行を開始した。今後、各種計画に基づき、利便性向上と効率的な路線再編の両立を図るため、公共交通全体の見直しを行っていく。

(2) 事務事業の指標

成果指標	単位	R2年度(実績)	R3年度(実績)	R4年度(実績)	R5年度(計画)
ア 利用者数	人	25,153	25,664	25,194	28,000
イ					
ウ					
エ					

(3) 事務事業のコスト

① 事業費の内訳 (R4年度決算)	② コストの推移	単位	R2年度(決算)	R3年度(決算)	R4年度(決算)	R5年度(計画)	
【だんだんタクシー事業】 ・消耗品費 89千円 ・委託料 60,481千円(運行业務) 計 60,570千円	財源内訳	国庫支出金	千円				
		県支出金	千円	12,732	10,863	9,043	7,271
		地方債	千円				
		その他	千円				
		一般財源	千円	42,833	49,529	51,527	55,310
事業費計		千円	55,565	60,392	60,570	62,581	

2 事後評価【SEE】

① 事業実績における成果	現在、市全域にてデマンド型乗合タクシー「だんだんタクシー」の本格運行が行われている。その利便性の高さから利用者からは好評である。
② 事業実施するうえでの課題	より利便性を向上させるため、他の交通機関(市民バス・JR・民間路線バス)との接続を改善する必要がある。
③ 課題解決に向けた改革改善等	これまで、平成20年度策定した『雲南市地域公共交通総合連携計画』及び平成23年度に策定した『雲南市公共交通再編計画』に基づき事業展開してきた。しかしながら、利用者減少路線もあることから、今後は令和元年度に策定した『雲南市地域公共交通網形成計画』、令和2年度に策定した『雲南市地域公共交通再編実施計画』に基づき、限られた予算の中でより住民ニーズに合う事業の在り方について検討する。